

ロシア:ユコスへの追徴課税問題

石油・天然ガス調査グループ:本村真澄

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

ユコスに関する動き(2003年)

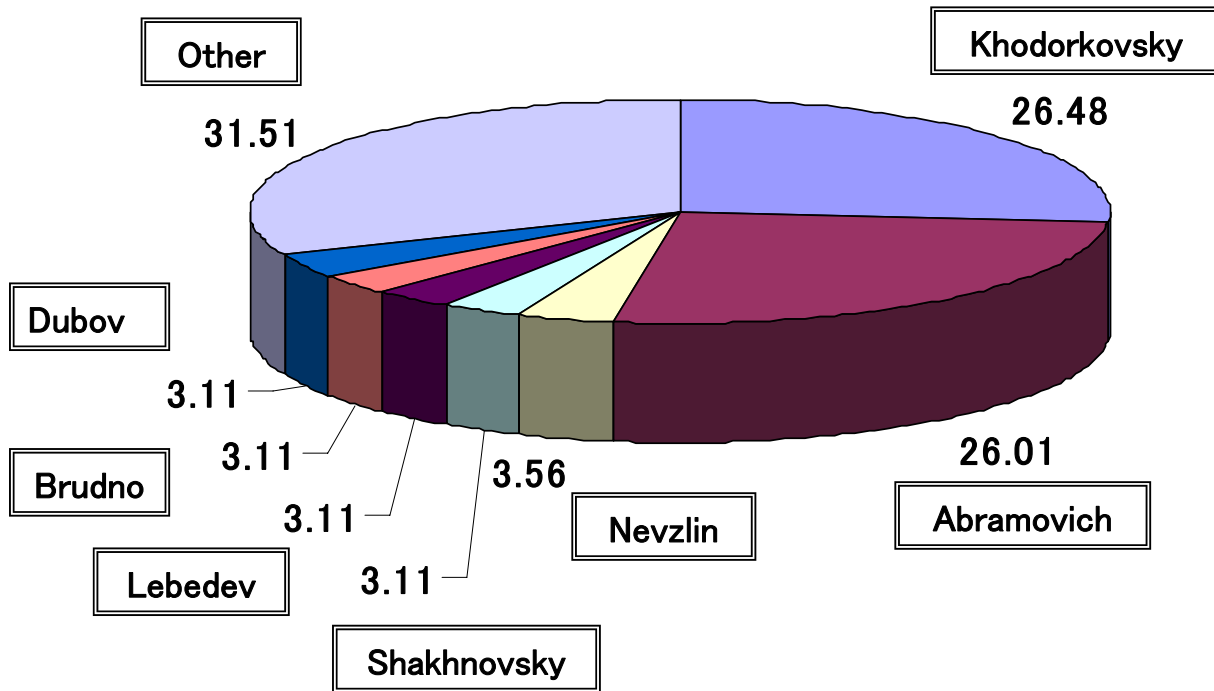


1

- 7月 2日:Menatep銀行会長レベージェフ逮捕
(アパチト株20%2.8億ドルの着服)
- 10月3日:シブネフチ株92%をユコス株26.01%+30億
ドルと交換(両社の合併作業開始)
- 10月17日:シャフノフスキー・ユコスモスクワ社長起訴
- 10月25日:ホドルコフスキー社長を横領・脱税で逮捕
- 10月30日:ユコス株式44.1%を差押さえ(その後39.5%へ)
- 11月 3日:ホドルコフスキーがCEO辞任(後任Kukes)
- 11月28日:ユコス、シブネフチ合併白紙へ
- 12月 8日:ロシア下院選で与党「統一ロシア」圧勝。
- 12月30日:税務省が994億ルーブル(\$34億)の追徴課税

YukosSibneft Shareholders (%)

ユコス・シブネフチの主要株主



ユコスに関する動き(2004



3

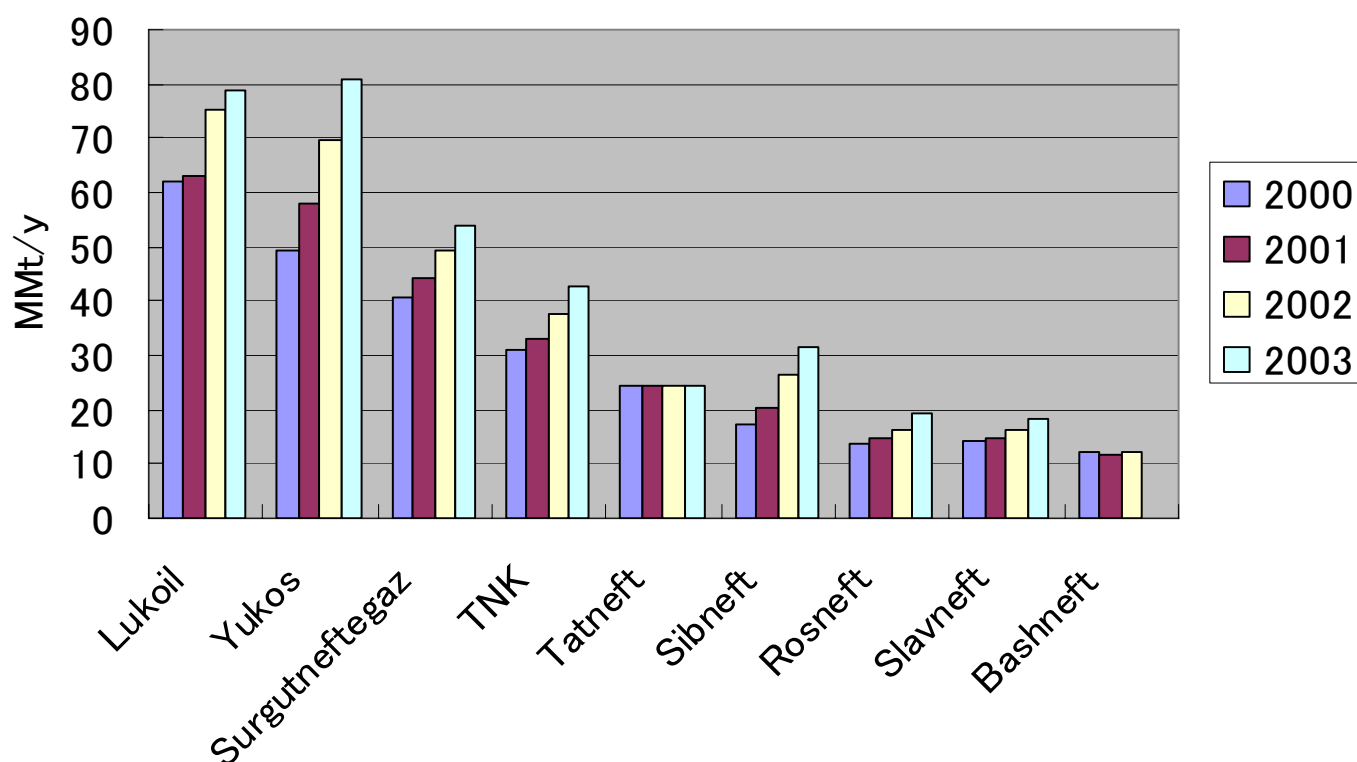
- 4月15日: 税務省、モスクワ調停裁判所に994億R提訴。
- 5月26日: 裁判所はユコスに990億Rの支払命令
- 6月17日: プ大統領「ユコスの破産を希望せず」
- 6月24日: ゲラシチェンコ会長、シードCEO就任。
- 6月29日: 控訴審判決、ユコス追徴課税990億R確定。
- 7月 1日: 税務省は2001年分980億R追徴課税。
- 7月14日: ユガンスクネフチ, サマラネフチ, トムスクネフチ株式差押え
- 7月20日: 法務省ユガンスクネフチガス株売却方針。WTI\$42
- 7月28日: ユコス生産停止懸念を公表。WTI\$43へ。
- 8月 3日: 税務省は2002年分の納税調査開始。
- 8月 9日: ユガンスクネフチ株差押え解除命令(8/6)を撤回。

- ロシア税務省の訴状によれば、チュコト、カルミキヤ等のTax Havenでの節税を今回脱税と認定。
 - 2000年……………990億R(\$34億)
 - 2001年……………980億R(\$33.8億)
 - 2002年／2003年上……………? \$30億?
- 約\$100億
- 法の恣意的適用→他社へのメッセージ
 - ユコスの株式総額は昨年夏、450~480億ドル。現在は株価大幅下落(\$16→\$3.75@8/09)

- 2003年は、8,070万トン(160万b/d)、ロシアの19%
- 2003年からルクオイルを抜きロシア第1位。
- Schlumbergerとの技術アライアンスに成功。
- 水平掘り、水圧破砕法などの積極適用。
- 油田マネージメント技術の確立。
- Yukos Explorationの子会社
 - Yuganskneftgaz, Samaraneftgaz, Tomskneft etc.
- Yukos Refining & Marketingの子会社
 - Kuybyshev, Syzran, Achinsk, Angarsk 製油所

Russian Oil Production by Company

ロシア石油会社の生産の伸び



法務当局の措置とユコスの対応



7

- 強制執行法による強制競売の優先順位
 - ①生産に直接関係のない資産(現金)
 - ②製品もしくは生産に関係ない物的資産
 - ③生産に直接関連のある資産(石油生産企業)
- 7月20日、法務省はユガンスクネフチガスの株式売却の方針を発表。ユコスはモスクワ調停裁判所にて8月6日勝訴するも、9日差押さえ再開。
- ユコスは990億Rの内、220億Rを支払い済み。

- 拠 点：西シベリア、ハンチマンシースク地方
- 生産量：100万バレル/日(ユコス全体の60%)
ユコスの主力生産企業。生産の伸びの牽引力。
- 主力油田：プリオビ油田50万b/d@2005年
- 本 社：ネフテユガンスク(オビ河中流)対岸にはSurgut市(Surgutneftegazの本社)

- 会社資産を劣化させないために、生産継続は基本的に必要な措置。
- 生産停止を示唆したのはユコス。一種の「恫喝」。法務当局は生産停止を要求せず。
- 石油の供給途絶の噂は石油市場で材料視。
- ユガンスクネフテガス株式の差押さえが解除される(8/6)も、直ちに再差押さえ。
- 銀行口座の凍結は操業に悪影響。但し、
 - Transneftについては8月一杯輸送枠を確保。
 - 鉄道輸送については当面問題なし。

- シェブロンテキサコ:7月初め、ロシアに対して50～100億ドルの投資計画の表明。
- コノコフィリップス:9月半ばにルクオイルの政府保有株式7.6%を19.4億ドルで購入希望。
- BP:「ユコス事件に関するクレムリンの対応は、石油・天然ガス分野の外の活動」Browne
- BP業績発表(7/27):収益23%増。生産量397万b/d(18%増)。増産はTNK-BPからのもので89万b/d(31%増)、他地域は14.2%増。

- 高油価による好決算、潤沢な資金。
- 長期的に、世界的に旺盛な石油需要。
- 株主からは埋蔵量置き換えのプレッシャー。
- 効率の良い投資先開拓の必要性。
- 中東は、高い政治リスク、厳しい経済条件。
- 中南米、アフリカと比較してロシアの投資環境が著しく悪いとは言えず。
- ロシアでは大規模埋蔵量確保が容易(TNK-BP)
- 相対的にロシアの投資価値が高い状況続く。